

## 「人生100年 誰でも認知症」～腹を立てずに、顔を立てる～

【アンケート結果 出席者 28名 回収率 75%】

## 1. 今回の研修会の内容について

1) 大変参考になった	18	2) 参考になった	3
3) あまり参考にならなかった	0	4) 全く参考にならなかった	0

## \* その理由について

- ・赤組と緑組の概念がわかりやすかった。実際のケアに基づいている話なので真実味があった。
  - ・わかりやすい言葉と例えで説明して貰えたので、何を言わんとして何が重要なのかを理解することができた。
  - ・「ご本人の顔を立てる」ことの意識を常に持つこと、環境を把握すること生活状態を考え支援する、改善する気持ちももてた。
  - ・今までの認知症研修とまた一風視点が違い現場で実践しやすい内容だった。
  - ・先生のユーモアが楽しい研修になった。「ばあさんセンターケア」実践したいです。
  - ・認知症の利用者様と接するための勉強になりました。お客様に寄り添い、傾聴、顔をたてるケアをしたい。
  - ・ユマニチュード、BPSD中核症状などの理論については学んだことがあったが、具体例を含めて話して下さったので理解が深まった。原因に普段の体調管理があったことがわかりました。
  - ・訪問介護の難しさ、重要性を再認識することができました。介護についての本音をわかりやすく説明して頂き、何度も共感できる点がありました。
  - ・日々認知症の利用者さんと接し、その家族とのかかわりについても再認識することができました。
  - ・今後の役に立つとても素晴らしいお話しでした。学校では聞けなかったお話はとてもためになりました。水分、食事、運動、大変重要なことだと見直しました。
  - ・わかりやすい言葉での講義でした。実践的ですぐに役立つお話だと思いました、ありがとうございました。
- ・とても素晴らしい内容で大変参考になりました。まず体調を整えること(水分、栄養、排便)のところを明日から利用者様やヘルパーに伝えていきたいです。
  - ・もっと早く、20年前に聞きたかったです。私の父は認知症はなかったが、「事前指示書」について聞きたかったです。本人は意識を失ってそのまま逝ってしまったので。今要支援2に実母と同居しながら今後の母のことも考えさせられた。
  - ・わかりやすい説明で復習ができましたACPIについては独居、認知症、生活保護の方が今の課題です、今後検討していきます。
  - ・日々同じ介護という業務をいつも同じ仲間と同じ方におこなっていると、いつも同じような形式的な介護になっていないか、気づかされた。この点に気づかされた上で、具体的な手法(ユマニチュードなど)についても再確認できてよかった。
  - ・御本人の経験談はとても説得力がありました。
  - ・認知機能の低下から社会性が失われる、食べ物から支援できると思いました。水分もとれるよう促そうと思いました。今までの研修で一番よかったです。
  - ・利用者様との関りを違った視点でみることに気づかされました、生活歴シート参考になります。
  - ・わかりやすい説明でした。自分にも当てはまりました。ご利用者様、ご家族様との信頼関係が大事だと理解できました。

## 2.研修の時間(長さ)について

1)ちょうど良い	18	2)短い	2
3)長い	1	4)未回答	0

### \* その理由について

- ・やや長く感じた、問いかけや考える時間があると、そう感じにくかったと思う。

## 3.研修会の運営に問題はありませんでしたか？

1)あった	0	2)なかった	21
-------	---	--------	----

### \* その理由について

## 4.今後、どのような研修を希望しますか？

- ・BPSDの原因をつかむシュミレーション、改善例など
- ・赤組の家族へのアプローチ成功例など、事例発表会ができると思います。
- ・介護者へのアドバイス方法を勉強したい。
- ・今回のように実用的な内容のものがいいです。また地域関係のつながりについて興味があります。
- ・排便コントロールについて
- ・身体介護技術など